

東京電気大学 宮地 一裕 先生 監修

MIDAS CIVIL NXで学ぶ構造力学

構造編

第3章

MIDAS × MIYACHI Kazuhiro

STRUCTURAL
ANALYSIS

東京電気大学 宮地 一裕 先生 監修

MIDAS CIVIL NXで学ぶ構造力学

構造編



第3章

トラスの解析

教科書 3-1 ~ 3- 27 P

第3章 トラスの解析

- 3.1 概念の理解
- 3.2 チュートリアル
- 3.3 構造計算の解説
- 3.4 練習問題

東京電気大学 宮地 一裕 先生 監修

MIDAS CIVIL NXで学ぶ構造力学

構造編



第3章

トラスの解析

- 概念の理解 -

トラスとは？

2つ以上の直線部材を節点においてピン（ヒンジ）接合し、三角形を基本単位として構成された構造物



(a) トラスの屋根

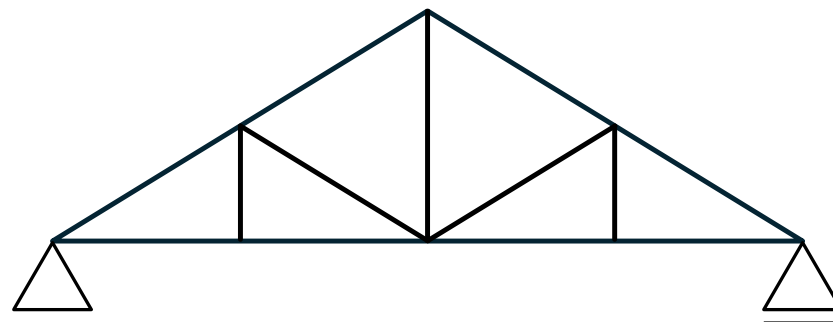


(b) 長スパン橋梁

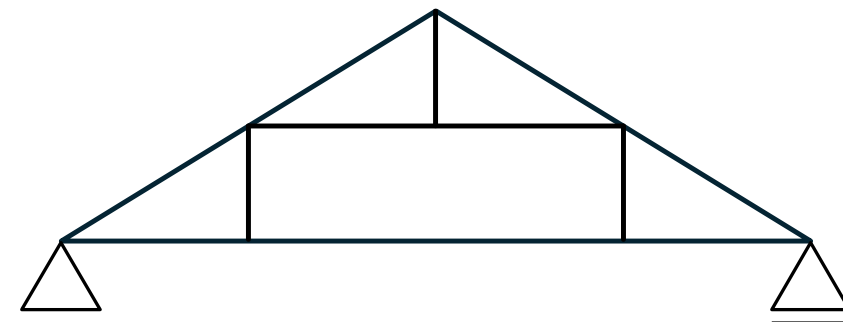
写真 3.1 トラス構造物

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

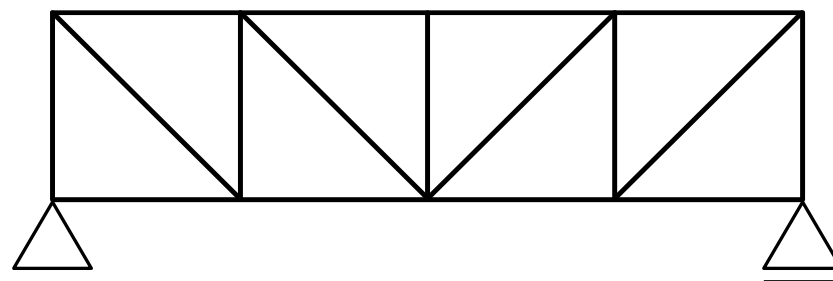
東京電気大学
宮地 一裕 先生



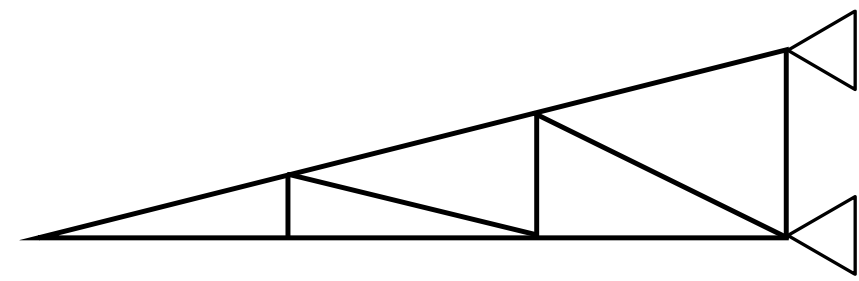
(a) キングポストトラス



(b) クイーンポストトラス



(c) 平行弦トラス



(d) 片持ち梁系トラス

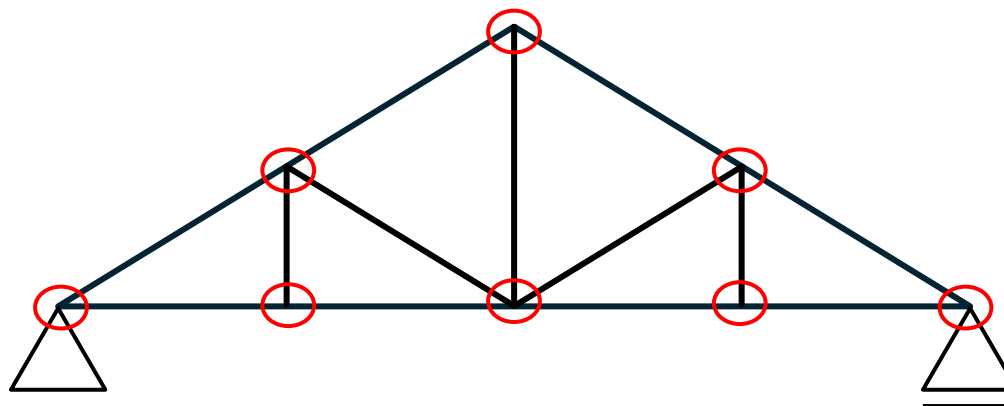
図 3.1 トラスの種類

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

東京電気大学
宮地 一裕 先生

トラスの部材力の計算

- ①各部材が接合する節点は、曲げモーメントを伝達しない摩擦のない
ピン（ヒンジ）接合である。
- ②各部材は直線材である。
- ③各部材の中心軸は、節点において1点で交差する。
- ④全ての外力は、部材が連結される節点にのみ作用する（部材に作用する荷重は、等価な節点荷重に置き換えて考える）。



CIVIL NXで学ぶ
構造力学 **構造編**

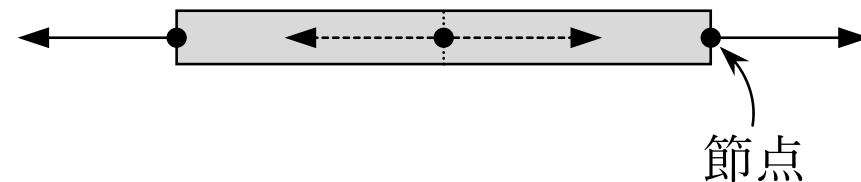
東京電気大学
宮地 一裕 先生



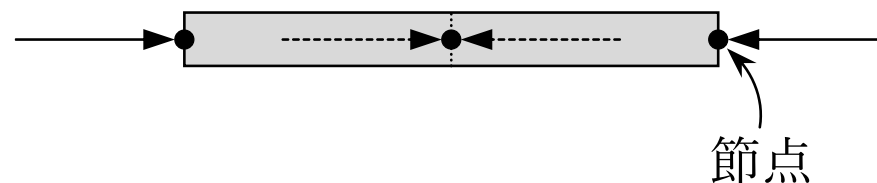
図 1.3 断面力の符号規約

軸力

軸力 N は部材要素が
伸ばされる方向（引張）が
+ 方向



(a) 引張 正 (+)



(b) 圧縮 負 (-)

図 3.2 外力と内力の釣り合い

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

東京電気大学
宮地 一裕 先生

第3章

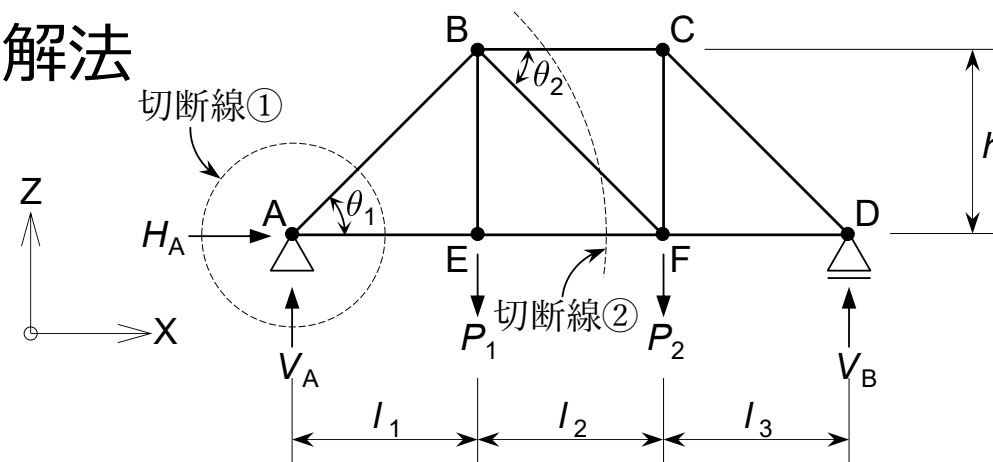
外部不静定次数 : $m_e = n - 3$ (3.1a)

内部不静定次数 : $m_i = (3 + s + r) - 2k$ (3.1b)

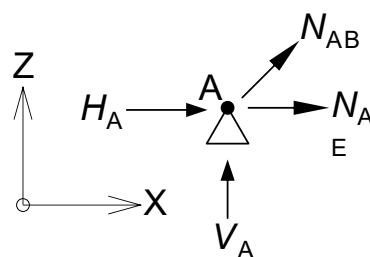
全体不静定次数 : $m = m_e + m_i$ (3.1c)

※ n は反力の数, s は部材の数, r は剛節点の数, k は節点の数

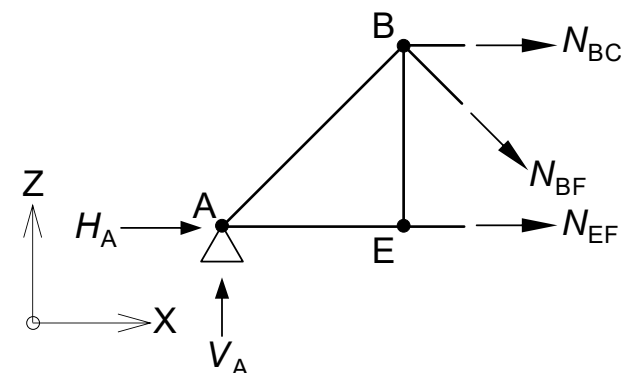
静定トラスの解法



(a) 全体図



(b) 節点法

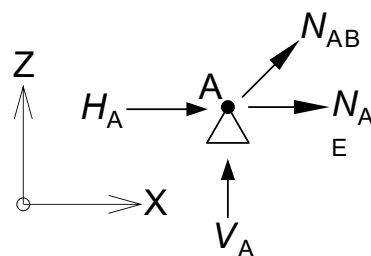


(c) 切断法

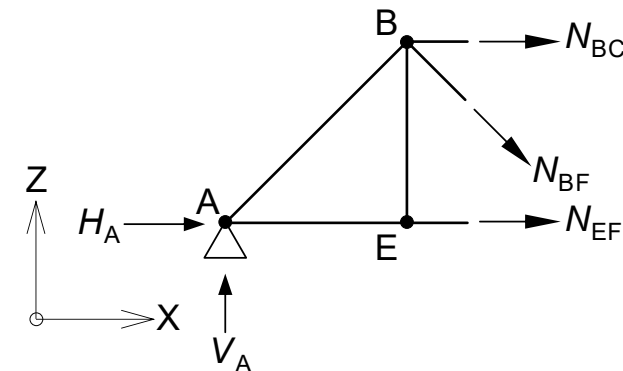
図 3.3 節点法および切断法

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

東京電気大学
宮地 一裕 先生



(b) 節点法



(c) 切断法

図 3.3 節点法および切断法

節点法

$$\sum H = H_A + N_{AE} + N_{AB} \cos \theta_1 = 0 \quad (3.2a)$$

$$\sum V = R_A + N_{AB} \sin \theta_1 = 0 \quad (3.2b)$$

切断法

$$\sum H = H_A + N_{BC} + N_{BF} \cos \theta_2 + N_{EF} = 0 \quad (3.3a)$$

$$\sum V = V_A - N_{BF} \sin \theta_2 = 0 \quad (3.3b)$$

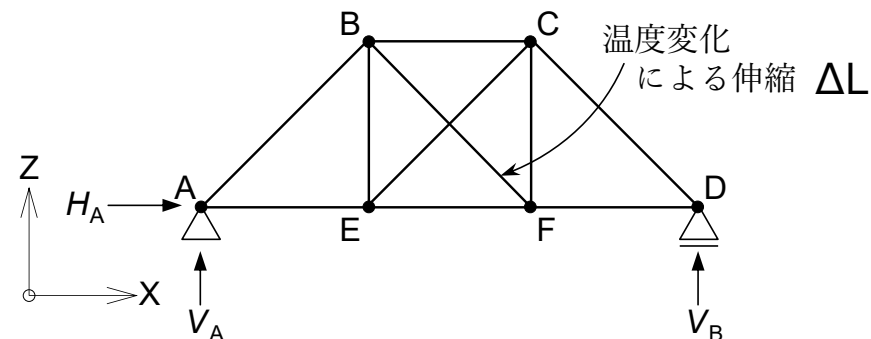
$$\sum M_B = -H_A h + V_A l_1 - n_{EF} h = 0 \quad (3.3c)$$

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

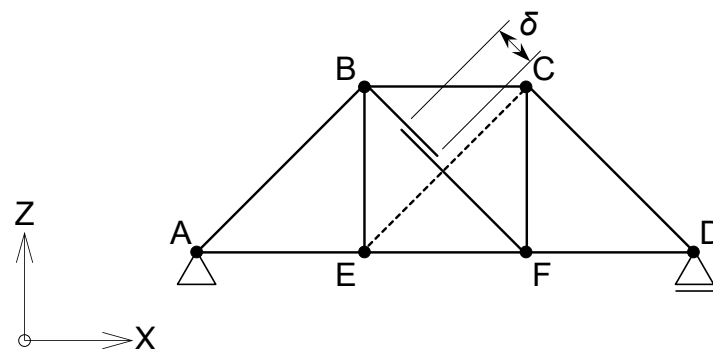
東京電気大学
宮地 一裕 先生

不静定トラスの解法

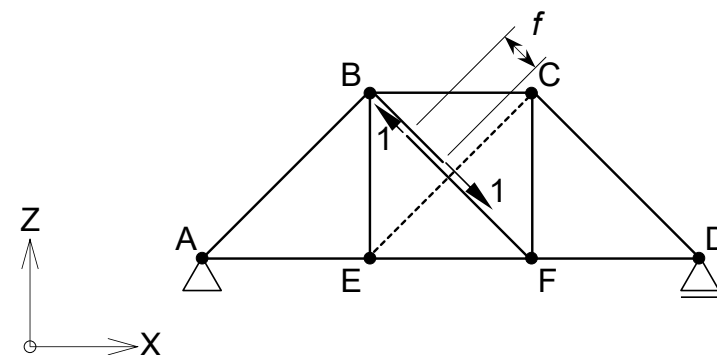
- ① 余分な力を1つ決める (これが未知数 x)
- ② その力でどれくらい変形するか考える
- ③ 「本来あるべき変形」と一致させる



(a) 解析モデル



(b) 外部から荷重が作用する場合



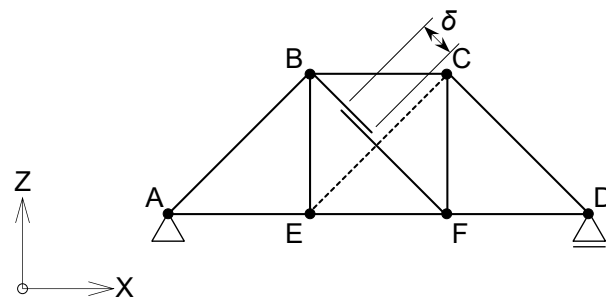
(c) 部材BFに単位荷重を加えた場合

図 3.4 たわみ性法

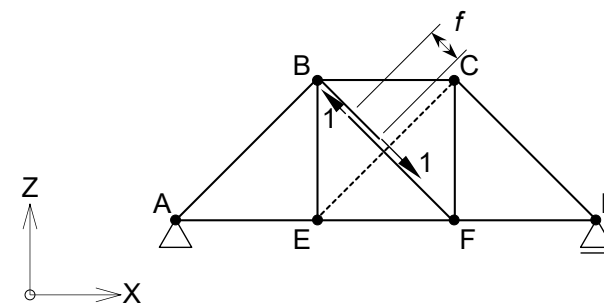
CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

東京電気大学
宮地 一裕 先生

トラスの解析 — 概念の理解



(b)外部から荷重が作用する場合



(c)部材BFに単位荷重を加えた場合

図 3.4 たわみ性法

$$\delta + fX - \Delta L = 0 \Rightarrow \delta + fX = \Delta \quad (3.4)$$

$$\begin{Bmatrix} \delta_1 \\ \delta_2 \end{Bmatrix} + \begin{bmatrix} f_{11} & f_{12} \\ f_{21} & f_{22} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} X_1 \\ X_2 \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} \Delta_1 \\ \Delta_2 \end{Bmatrix} \quad (3.5a)$$

$$f_{11} = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^1 n_i^1, f_{12} = f_{21} = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^1 n_i^2, f_{22} = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^2 n_i^2 \quad (3.5b)$$

$$\delta_1 = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^1 N_i, \delta_2 = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^2 N_i \quad (3.5c)$$

Δ_i : 製作誤差または温度変化などによる変形

n_i^1 : 部材BFを切断し, その位置に単位荷重を加えた場合のトラスの部材力

N_i : 部材BFがない状態での荷重によるトラスの部材力

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

東京電気大学
宮地 一裕 先生

東京電気大学 宮地 一裕 先生 監修

MIDAS CIVIL NXで学ぶ構造力学

構造編



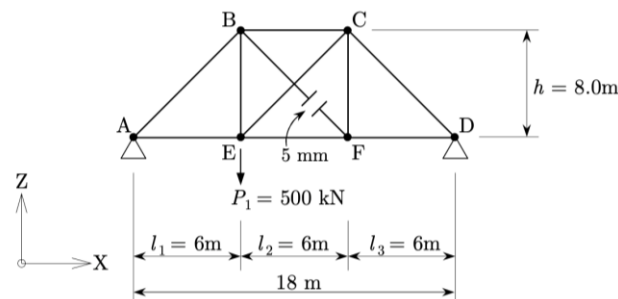
第3章

トラスの解析

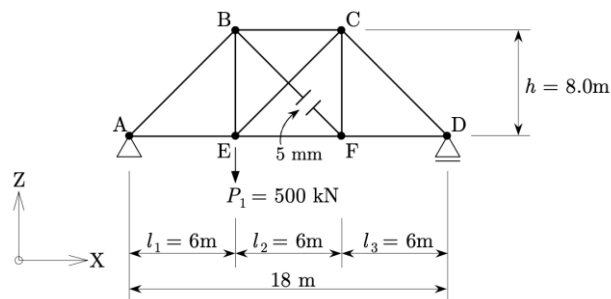
- チュートリアル -

チュートリアル モデルの概要

内的 1 次不静定トラスと内的・外的 1 次不静定トラスを対象として、
製作誤差に相当するプレテンション荷重および集中荷重を与えた場合の挙動を比較する。



(a) モデル 1：内的 1 次不静定



(b) モデル 2：内的 1 次，外的 1 次不静定

図 3.5 解析モデル

➤ 材料

鋼材：SM400

・ヤング係数..... $E_s = 2.00 \times 10^8 \text{ kN/m}^2$

➤ 断面

・断面形状ボックス断面

・断面寸法 $300 \times 300 \times 12 \text{ mm}$

・断面積 $A = 1.345 \times 10^{-2} \text{ m}^2$

➤ 荷重

・節点集中荷重 $P = 500 \text{ kN}$

・製作誤差 5 mm に相当するプレテンション荷重 $F_{\text{pre}} = 1,345 \text{ kN}$

$$F_{\text{pre}} = K\delta = \frac{EA}{l}\delta = \frac{2.00 \times 10^8 \times 0.01345}{10} \times 0.005 = 1,345 \text{ kN}$$

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

東京電気大学
宮地 一裕 先生

東京電気大学 宮地 一裕 先生 監修

MIDAS CIVIL NXで学ぶ構造力学

構造編



第3章

トラスの解析

- 構造計算の解説 -

トラスの解析 — 構造計算の解説

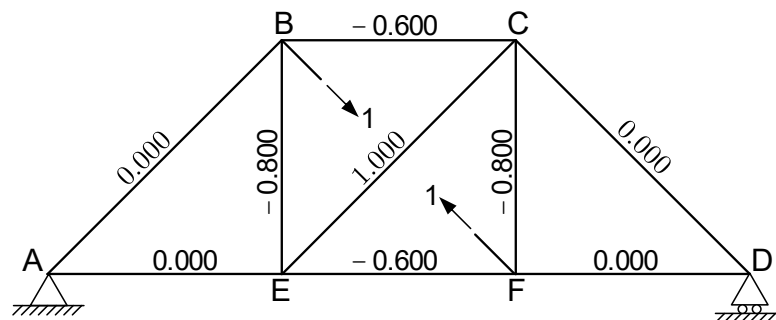
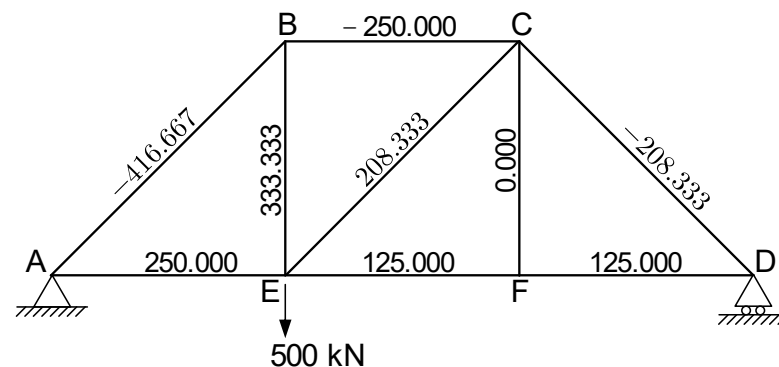
(a) n_i^1 (b) N_i

図 3.26

$$\delta_1 + f_{11}X_1 = \Delta_1 \quad (3.6)$$

$$\begin{aligned} f_{11} &= \frac{1}{EA} \sum n_i^1 n_i^1 l_i \\ &= \frac{1}{EA} \{ (-0.6)^2 \times (6,000) + (-0.8)^2 \times (8,000) + (1.0)^2 \times (10,000) \times 2 \\ &\quad + (-0.8)^2 \times (8,000) + (-0.6)^2 \times (6,000) \} \\ &= \frac{34,560}{EA} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \delta_1 &= \frac{1}{EA} \sum n_i^1 N_i l_i \\ &= \frac{1}{EA} \{ (-0.6) \times (-250) \times (6,000) + (-0.8) \times (333.333) \times (8,000) \\ &\quad + (1.0) \times (208.333) \times (10,000) + (-0.6) \times (125) \times (6,000) \} \\ &= \frac{399,998.8}{EA} \end{aligned}$$

$$\Delta_1 = 5 \text{ mm}$$

$$\frac{1}{EA} (34,560X_1 + 399,998.8) = 5 \text{ mm}$$

$$X_1 = 377.604 \text{ kN}$$

CIVIL NXで学ぶ
構造力学 構造編

東京電気大学
宮地 一裕 先生

トラスの解析 — 構造計算の解説

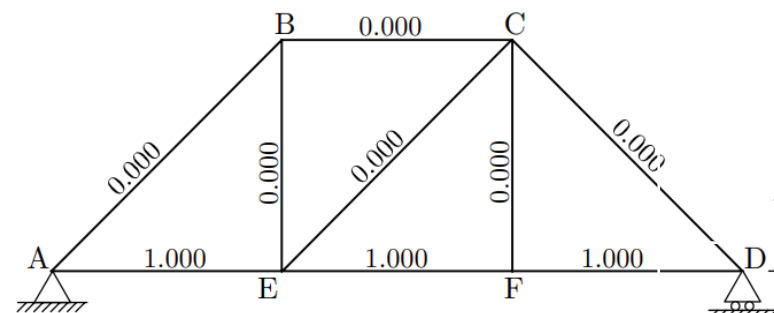
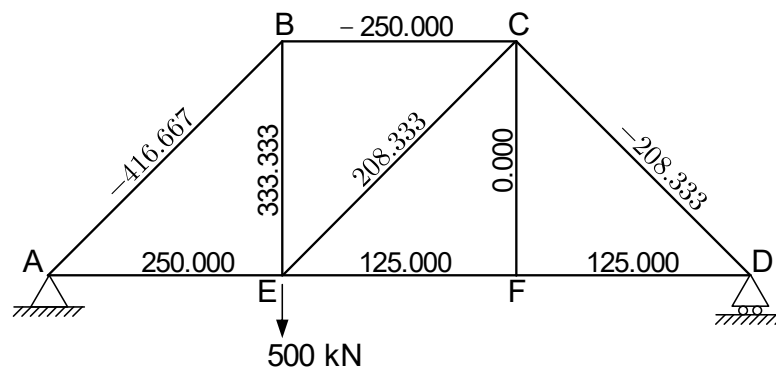

(a) n_i^2

(b) N_i

図 3.26

$$\begin{Bmatrix} \delta_1 \\ \delta_2 \end{Bmatrix} + \begin{bmatrix} f_{11} & f_{12} \\ f_{21} & f_{22} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} X_1 \\ X_2 \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} \Delta_1 \\ \Delta_2 \end{Bmatrix} \quad (3.5a)$$

$$f_{11} = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^1 n_i^1, f_{12} = f_{21} = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^1 n_i^2, f_{22} = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^2 n_i^2 \quad (3.5b)$$

$$\delta_1 = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^1 N_i, \delta_2 = \sum \frac{l_i}{EA_i} n_i^2 N_i \quad (3.5c)$$

$$f_{11} = \frac{34,560}{EA}$$

$$f_{12} = \frac{1}{EA} \sum n_i^1 n_i^2 l_i = \frac{1}{EA} (-0.6) \times (1) \times (6,000) = -\frac{3,600}{EA}$$

$$f_{22} = \frac{1}{EA} \sum n_i^2 n_i^2 l_i = \frac{1}{EA} (1) \times (1) \times (6,000) \times 3 = \frac{18,000}{EA}$$

$$\delta_1 = \frac{399,998.8}{EA}$$

$$\begin{aligned} \delta_2 &= \frac{1}{EA} \sum n_i^2 N_i l_i \\ &= \frac{1}{EA} \{ (1.0) \times (250) \times (6,000) + (1.0) \times (125) \times (6,000) \times 2 \} \\ &= \frac{3,000,000}{EA} \end{aligned}$$

$$\frac{1}{EA} \begin{bmatrix} 34,560 & -3,600 \\ -3,600 & 18,000 \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} X_1 \\ X_2 \end{Bmatrix} + \frac{1}{EA} \begin{Bmatrix} 399,998.8 \\ 3,000,000 \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} 5 \\ 0 \end{Bmatrix}$$

$$\begin{Bmatrix} X_1 \\ X_2 \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} 367.908 \text{ kN} \\ -93.085 \text{ kN} \end{Bmatrix}$$